

健康と医療 **いきいきゼミナール**

健康と医療についてゲストに語っていただくコーナーです

テーマ 「飲酒で顔が赤くなる人は、食道がんに要注意！」

ゲスト 琴似駅前内科クリニック 高柳 典弘 院長



解する反応です。第二段階は2型アルデヒド脱水素酵素(ALDH2)によりアセトアルデヒドを酢酸に変換する反応です。フラッシャーは第二段階で働くALDH2の活性が遺伝的に低いため、悪酔いの原因物質とされるアセトアルデヒドが急激に体内に蓄積されることが原因でフラッシャー反応が引き起こされます。

近年、フラッシャーはそうでない

人(ALDH2の活性が強い人／いわゆる酒豪タイプの人)に比べて食道がんになるリスクが高いという研究結果が示されました。1日の飲酒量が1.5合以下で6倍、1.5～3合だと61倍、3合以上だと93倍に跳ね上がるとされます。

重要なのは、フラッシャーの発がんリスクはアルコールそのものにあるのではなく、ALDH2の活性が低いことで蓄積しやすいアセトアルデヒドが原因であることです。フラッシャーは、まったくアルコールを飲めない人(ALDH2の活性がまったくない人／いわゆる下戸の人)に比べ

できます。不快感を伴うフラッシャー反応があるため飲酒を控える傾向にありますが、長年飲んでいると別の代謝経路が鍛えられて不快にならずに飲酒ができるようになっていきます。その結果、フラッシャーでも飲酒の習慣を持つ人が多く、アセトアルデヒドの長期的な蓄積により食道がんや咽頭がんのリスクが高まっていくものと考えられます。

フラッシャーの方は、できるだけ飲酒を避けることをお勧めします。万一、食道がんになっても早期で見つけるために、内視鏡検査をはじめとする定期的な検診を受けることも大切です。

病院訪問

琴似駅前内科クリニック

生活習慣病をはじめ消化器疾患の診断・治療、さらには消化器のがんの早期診断を専



▲外観



▲内観 院長/高柳 典弘

住所/札幌市西区琴似2条1丁目
琴似タワープラザ2F
電話番号/011-622-3531
診察受付/月～金曜 9:30～19:30
土・日曜・祝日 9:30～17:00
休診日/不定期(年10日間)

企画制作/北海道新聞社営業局